

施策：	16	開かれた市政の推進	財務コード	01020103-01-00
基本事業：	01	広報の推進	担当部	企画政策部
基本事業の成果指標	広報紙を読んでいる市民の割合 メディアへの情報提供件数（計画期間内累計）		担当課	秘書広報課
			担当係	広報広聴担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	～		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画			
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）							
筑紫野市内外の住民及び市内に通勤・通学している人 筑紫野市内の企業等			・広報業務として、市ホームページの掲載内容の確認、SNS（フェイスブック、ツイッター、LINE、インスタグラム）の運用、市民便利帳の発行の他にマスコミ等にイベント等の情報を提供しています。 ・広聴業務は、移動市長室、市政への提案等を実施し、市民の声を取り入れながら、市民参画の市政づくりに努めています。							
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）										
行政情報の積極的な提供を行うとともに、市民等からの意見・提案を受け入れ、情報の共有化を進め、市民協働のまちづくりを推進します。										
4. 成果（簡易評価は未記入）										
成果指標名称		単位	02年度 実績	03年度 実績	04年度 当初	05年度 要求	06年度 計画	07年度 計画	目標	
マスコミ等への情報提供件数		件	61	64	70	70			404	
市公式ホームページ（魅力発信に関するページ）アクセス件数		件	0	249	20,000	20,000			80,000	
5. コスト										
事業費		計	千円	830	642	1,145	2,190			
		国	千円	0	0	0	0			
		県	千円	0	0	0	0			
		地方債	千円	0	0	0	0			
		その他	千円	26	0	52	52			
一般		千円	804	642	1,093	2,138				
正職員人工数		人工	1.4	1.4	1.4	1.4				
正職員人件費		千円	11,241	11,089	10,819					
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	12,071	11,731	11,964	2,190				
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）										
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）		<状況>マスコミ等への情報提供件数は、横ばいとなっています。 <原因>マスコミへの情報提供件数は、令和3年度も新型コロナウイルス感染症対策により行事等が中止となったことにより少数横ばいとなっています。ホームページへのアクセス件数は、魅力発信ページの作成が年度末となったことにより、僅かとなっています。								
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）										
対象動向	維持	類似事業	なし	《課題》 「市政への提案」事業を本事業に編入し、広報・広聴を一体とするように取り組みを進めていきます。 市制施行50周年記念事業としてインスタグラムを活用することから、他の情報媒体とは別に魅力発信という面で情報発信を行っていきます。						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし							
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし							
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	あり							
成果向上余地	中程度									
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）						改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）										
ホームページ上の魅力発信（シティプロモーション）ページの作成を委託することを検討しています。										
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）						備考・特記事項 or 進行管理欄				
SNS（フェイスブック・ツイッター）とともに令和2年3月から開始したLINE公式アカウントも順調に推移しています。広報広聴業務を全庁的に強化していくため、各課等に設置している情報発信担当者と連携して取り組んでいます。										